



東京ニューシティ管弦楽団

TOKYO NEW CITY ORCHESTRA 第137回定期演奏会

ベートーヴェンの心底からの叫び(第4楽章冒頭)!

バリトンの叙唱

おー友よ!こんな(!!特権階級の覆滅した超封建社会の)

世の中なんて(まっぴらだ)!

そうじゃなく、もっと(フランス革命の頃のように自由平等で)

暮らしやすい世の中に

変革していこうじゃないか!

そうしたら喜びに満ち溢れた世の中が...

...さあ一緒に Freude! Freude!

第九

ベートーヴェンの
たの願望に
応えて

ベートーヴェン
生誕250年記念



Sop. 嘉目真木子 Alt. 山下牧子 Ten. 工藤和真 Bar. 星野淳

ベートーヴェン

交響曲第10番 変ホ長調
第1楽章 (バリ・ケーパ・版)

ベートーヴェン

交響曲第9番 二短調
作品125「合唱付き」

合唱 東京合唱協会

©Takashi Fujimoto

指揮
内藤 彰
Akira Naito

3/6

2021
[土]

14:00開演(13:00開場)

13:45より指揮者によるプレトーク

東京芸術劇場コンサートホール

料金 (全席指定)

《一般発売日2020年11月17日(火)》

SS席	S席	A席	B席	C席	E席
10,000円	6,500円	5,000円	3,500円	2,500円	6,500円

シニア割引: 10%引き (60歳以上) 学生半額 (25歳以下、SS席、S席除く) E席高大学生割 (25歳以下): 1000円
※上記割引については事務局までお問い合わせください。※未就学児の入場はご遠慮ください。
※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。ご了承ください。
※E席: 未来の演奏家の育成を目的に新たにエデュケーショナル席を設けました。

お申込み・お問い合わせ

東京ニューシティ管弦楽団チケットオフィス (土・日・祝を除く10時から18時)

☎ 03-5726-9008 <http://tnco.or.jp> 東京ニューシティ

- チケットぴあ (Pコード:176-994) ☎ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/>
- 東京芸術劇場ボックスオフィス ☎ 0570-010-296 (ナビダイヤル)
- イープラス <http://eplus.jp>

特別協賛: ファースト・パシフィック・キャピタル有限会社

主催: 一般社団法人 東京ニューシティ管弦楽団 認定: 公益社団法人 企業メセナ協議会



JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅
西口より徒歩2分 駅地下通路2b出口と直結しています

第九の真意 —— 指揮者 内藤 彰

人類の自由平等を強く願うベートーフェンは、ナポレオン失脚後のウィーン会議で急速に復権した、旧特権階級による不平等で厳しい封建制度の突然の出現に怒り、フランス革命時の理念復活を願って、まず第4楽章冒頭にその最悪になってしまった世の中を、特別汚い音の塊から成るファンファーレとして表現した。続くチェロ・バスのレジタティーヴォでは、このために彼が用意していた“絶望”という言葉の背景に、その最悪な封建制度を粉砕するため、難易度の高い旋律を書き、それを物凄く速いテンポで演奏するよう奏者に強制した。その後、同じ信念を具体的に言葉にして訴え、民衆をより良い世界に導くための主張が、チラシの表面の左上に書かれたバリトンのレジタティーヴォである（世界でおそらく初めての、ベートーフェンの意図に沿った訳し方であろう）。ところが今まで、彼が何を主張するために冒頭のファンファーレやレジタティーヴォを、あのような異様な形態で書いたのか、その真意は多くの人にとって全くの謎であった。当然その最重要なポイントが謎のままでは、次に来るバリトンのレジタティーヴォの中で一番重要な単語 **anstimmen** が、辞書に載っている多くの訳し方のうち、どれに該当するのかを判別することは不可能であろう。しかし、このレジタティーヴォが、第4楽章の冒頭から始まるベートーフェンの心の底からの怒りと願望を、バリトン独唱に託したものであることさえ理解出来れば、容易にその意味が“抵抗する、変革する”であることが判る。しかし彼の真意が多くのの人にとって謎のままであったがため、今まで彼の主張とは無関係な意味“歌い始める”が選択され、“心地よい歌を歌おう”とされてきた。日本の独和辞典では、誤ってその意味以外のすべてが欠落しており、それも理解不能に拍車をかけることになった。しかしドイツでは、日常“変革する”的な意味でよく使われており、他の国の辞典には、その意味を含む何通りもの訳が載っている。以上述べてきたことすべてを理解した上で、ベートーフェンの主張を、彼の望み通りに演奏することは、**おそらく本公演が世界で初めてではなかろうか！**なお Beethoven の *ven* は *Fenn* と発音することが正しい。*Venn* または *Ben* と表記する過ちは、世界で日本だけである。
(<https://naito-conductor.com> の「超名曲の常識を斬る」の第2章に詳細)

内藤 彰 〈指揮者〉 Akira Naito, Conductor

名古屋大学理学部卒業後、桐朋学園大学研究科（指揮専攻）終了。山形交響楽団の専属指揮者を務めた後、東京ニューシティ管弦楽団を設立し、音楽監督を務める傍ら、日本の主要オーケストラをはじめ、ヨーロッパや中米等の交響楽団や国立歌劇場等を指揮してきた。歌劇『蝶々夫人』では、日本の伝統的「かね」に音程を付け世界初演した。ブルックナーの交響曲第4～9番では新稿の世界初演を果たし、誤った伝統的演奏慣習の根拠を示した修正に対し、ロンドンのブルックナージャーナル誌は、“驚愕”的事実として大きく取り扱った。また、ドゥヴォジャーク「新世界より」や、シベリウス「フィンランディア」では自筆譜を誠実に研究し新稿世界初演、その新校訂版はハナナ社より出版されている。現在、東京ニューシティ管弦楽団エグゼクティブ・コンダクター、プロ混声合唱団「東京合唱協会」音楽監督、日本指揮者協会幹事。



嘉目 真木子 〈ソプラノ〉 Makiko Yoshime, Soprano

大分県出身。国立音楽大学、同大学院修了。二期会オペラ研究所修了。文化庁海外研修員としてイフィレンツェへ留学。東京二期会『魔笛』パミーナでデビュー。以降『フィガロの結婚』スザンナ/伯爵夫人、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『パリアッチ』ネッタ、『こもり』ロザリンド、『椿姫』ヴィオレッタ、『魔弾の射手』アガータ、『金閣寺』有為子/女、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、『カルメン』ミカエラ、『メリー・ウィドー』ハナナ等で様々なプロダクションに出演。フランス国立ラン歌劇場に『金閣寺』女で出演、欧州デビュー。CHANEL、トッパンホール、オペラシティの主催によりリサイタル活動も多数行う。二期会会員。



工藤 和真 〈テノール〉 Kazuma Kudo, Tenor

東京藝術大学卒業。同大学院修了。声楽を小原一穂、佐々木朋也、市原多朗、エリザベス・ノルベルグ・シュルツ各氏に師事。市川市文化振興財団主催第28回新人演奏家コンクール優秀賞。第33回練馬新人会オーディションにて最優秀賞を獲得。第1回かわさき新人声楽コンクール第1位。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回伊声楽コンクール第1位、及び歌曲賞を受賞。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位（最高位）、及び聴衆賞を受賞。オペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』のトゥリッドゥ役でデビュー。東急ジルベスターコンサート2019-2020ではベートーヴェン《交響曲第九番》テノールソリストとして出演。



山下 牧子 〈メゾソプラノ〉 Makiko Yamashita, Mezzo Soprano

広島大学を経て東京芸術大学大学院に学ぶ。第1回東京音楽コンクール第1位。第72・73回日本音楽コンクール共に第3位入賞。平成27年度よんでん芸術文化奨励賞、令和元年度香川県文化芸術選奨受賞。これまでに二期会、新国立劇場を中心に、『ジュリアス・シーザー』タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『イドメネオ』イダマンテ、『カルメン』タイトルロール、『死の都』ブリギッダ、『サロメ』ヘロディアス等を演じ、近年も二期会『トリスタンとイゾルデ』ブランゲーネや新国立劇場『蝶々夫人』スズキで好評を博している。またコンサートソリストとして、『第九』『メサイア』などで活躍している。二期会会員。



星野 淳 〈バリトン〉 Jyun Hoshino, Baritone

北海道大学理1（物理系）を経て、北海道教育大学札幌分校特設音楽科を卒業。二期会オペラスタジオ第34期研究生修了、修了時に優秀賞を受賞。平成4年度文化庁芸術インターンシップ研修生。新国立劇場には1997年オープニング記念公演、團伊玖磨『建・TAKERU』において建設のカバーを務めて以来、23年間に渡り40公演に参加している。二期会『メリー・ウィドー』では2005年、2010年の2度ダニロ役に選ばれ、『故立川清登氏を彷彿させるダニロ』と絶賛された。三枝成彰『Jr. バタフライ』では2004年東京初演、2005年神戸再演において超難役の詩人を快演し、2006年イタリアのブッチーニ音楽祭では、唯一人イタリア語で演じ、満場のスタンディングオベーションの喝采を浴びている。二期会会員。

東京ニューシティ管弦楽団 Tokyo New City Orchestra

1990年設立。定期演奏会、名曲コンサート、オペラ、バレエ、音楽鑑賞教室、レコーディング、テレビ・ラジオ出演など幅広く活躍している。クリスチャン・ツィメルマン他著名な音楽家や、パリ・オペラ座バレエ団、英国バーミンガム・ロイヤルバレエ団、ボリショイ・バレエ、マリインスキー・バレエ、アメリカン・バレエ・シアター（ABT）他国内外の主要なバレエ団と共演。オペラでは二期会、藤原歌劇団と共演する他、スコット、パヴァロッティ、カウフマンなど世界で活躍するオペラ歌手と共演し質の高い演奏に信頼を得て現在に至る。2007年に中国上海公演、2009年にベトナム公演を行った。エグゼクティブ・コンダクター内藤彰、総合プロデューサー藪西正道、正指揮者曾我大介。（公社）日本オーケストラ連盟正会員。http://tnco.or.jp

東京合唱協会 Tokyo Choral Society

1984年、音楽監督に内藤彰を擁し、オペラや様々なコンサートでソロ活動をしている声楽家を中心に結成され、これまで定期演奏会、各地での特別演奏会、ファミリーコンサート、第九公演等の他年間数十回の学校公演を行っている。その他NHK FM、NHK学校放送、教育用CDの録音、他多数のTV番組に出演。また、バイエルン国立歌劇場日本公演（NHKホール）の合唱に30名がエキストラ出演し、同歌劇場からその高い歌唱力を絶賛された。オーディションで入団した団員たちの多くがその後日本音楽コンクール等各種のコンクールに入賞又は国内外の主要歌劇場でソリストを務めるまでに至る一方、合唱団員としても音楽教育の必要性を強く認識し、学校鑑賞教室をソロ活動同様、各自の重要な任務と真摯に位置づけている。近年は、文化庁のからの依頼公演において高い評価を得ている。